

## **【 議 事 3 】 資 料**

下関市総合交通戦略

(下関市地域公共交通網形成計画)の  
進捗管理について

下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



【平成30年(2018年)】

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年		
鉄道・路線バスを軸とした公共交通ネットワークの構築	施策 - 路線バス再編	1 バス路線の再編	交通事業者 下関市	計画	→										・「バス路線再編に関する基礎調査業務」を発注し、路線バスの乗降データの視覚化や、利用者へのヒアリング調査など、バス路線再編の大枠を検討する資料作成を行った。	・国の補助金を活用しながら業務発注を行い、再編実施計画を策定する。
				進捗	→											
	2 循環バス導入の検討	交通事業者 下関市	計画	→										・バス路線の再編と併せて検討。	・バス事業者と協議し循環バスの導入が行える路線を再編実施計画に反映する。	
			進捗	→												
	施策 - 交通結節点の強化	1 乗換拠点の整備検討	交通事業者 下関市	計画	→										・バス路線の再編と併せて検討。 ・バス乗換え拠点の検討に向けて官民連携基盤整備事業の説明会に参加。	・乗換拠点の整備箇所を定め再編実施計画に反映する。
				進捗	→											
	2 乗換拠点や駅へのアクセス道路の整備	道路管理者	計画	→										・バス路線の再編と併せて検討。	・乗換拠点の整備箇所を定め再編実施計画に反映するほか、駅へのアクセス道路の整備について道路管理者と協議する。	
			進捗	→												
	施策 - 公共交通の維持	1 路線バスの運行補助	国 山口県 下関市	計画	→										・サンデン交通、ブルーライン交通へ路線バスの運行費補助を実施。	・継続して実施する。
				進捗	→											
施策 - バス走行環境の改善	1 バス専用/優先レーンの遵守	道路管理者 交通管理者	計画	→										・運用されているバス専用/優先レーンを遵守。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
市民の暮らしを支える生活交通体系の構築	1 生活バスの運行	下関市	計画	→										・(交通対策課) 菊川、豊田、豊北地区にて実施。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
	2 コミュニティタクシーの支援(栗野地区等)	下関市	計画	→										・H30.5 栗野地区コミュニティタクシー廃止。	・新規導入地区の開拓に取り組む。	
			進捗													
	3 スクールバスの運行	下関市	計画	→										・(学校教育課) 遠距離通学児童生徒のために、スクールバスを運行。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
	4 市町村運営有償運送(外出支援サービス)の実施	下関市	計画	→										・(長寿支援課) 菊川、豊田、豊浦、豊北区域にて、対象者の個別輸送を実施。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
	5 離島航路の運行	下関市	計画	→										・(港湾局経営課) 「竹崎 - 六連島」間、「吉見 - 蓋井島」間をそれぞれ結ぶ市営渡船を運行。	・継続して実施する。	
			進捗	→												

下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



【平成30年(2018年)】

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容		
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)							
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年				
市民の暮らしを支える生活交通体系の構築	施策 - 利用者の需要に応じた地域公共交通の導入	6 生活バス路線の再編	下関市	計画	→										・バス路線の再編と併せて検討。	・再編する生活バス路線を定め再編実施計画に反映する。		
				進捗	→													
		7 地域公共交通の導入	地域住民 地域団体 下関市	計画	→										・地域公共交通の導入基準の作成・運用と合わせて検討。	・継続して検討を進める。		
				進捗	→													
		8 地域公共交通の導入基準の作成・運用	下関市	計画	→										・実施方法について検討。	・地域のニーズを把握した地域公共交通導入基準を作成し、新規導入地区の開拓に取り組む。		
				進捗	→													
		みんなが安全・安心かつ快適に外出できる交通環境の形成	施策 - 公共交通利用環境の改善	1 ノンステップバスの導入促進	交通事業者	計画	→										・(サンデン)ノンステップバス12台を導入。(導入率61.5%)	・継続して実施する。
						進捗	→											
2 バスロケーションシステムの導入検討	交通事業者			計画	→										・(サンデン)H30.4.16よりバスロケーションシステムの運用を開始。	・継続して情報提供を行う。		
				進捗	→													
3 バス停の待合環境整備	地域団体 民間事業者 交通事業者 下関市			計画	→										・バス路線の再編と併せて検討する。 ・(サンデン)H30.10月、高磯バス停(下り)に上屋を設置。	・バス停の待合環境の整備箇所を定め再編実施計画に反映する。		
				進捗	→													
4 バスのフリー乗降制度の導入検討	交通事業者 下関市			計画	→										・生活バスのアンケート結果から、要望に沿った導入可能な路線について検討。	・導入可能な路線を検討し、道路管理者及び警察署(公安委員会)と協議し導入に向けて取り組む。		
				進捗	→													
5 交通系ICカードの導入検討	交通事業者			計画	→										・(サンデン)路線バスへの導入に向け検討。	・導入に向けて協議を継続する。		
				進捗	→													
6 路線バスサービスの向上	交通事業者			計画	→										・(サンデン)H31.4.1に、需要に応じたダイヤの改正を実施。	・バス事業者と協議し、新規路線の設定について再編実施計画に反映する。		
				進捗	→													
7 鉄道駅施設の改良促進	交通事業者 国 山口県 下関市			計画	→										・1ヶ月の利用者数が3,000人以上のあるバリアフリー未整備駅のバリアフリー化について、鉄道事業者と協議を実施。	・鉄道事業者と協議を継続する。		
				進捗	→													
8 新駅設置の検討	交通事業者 下関市			計画	→										・具体的な検討がなかった。	・検討を行う。		
				進捗														

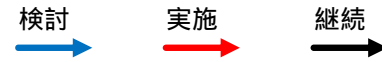
下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



[平成30年(2018年)]

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容	
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)						
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年			
みんなが安全・安心かつ快適に外出できる交通環境の形成	9	鉄道サービスの向上	交通事業者	計画	→										・(JR)H30.3.16に、統合新設校の下関北高校に合わせたダイヤ改正を実施。 ・(JR)市の行事(マラソン・花火大会等)において臨時列車等を運行。	・市の行事等において内容等を協議し臨時列車の運行等について検討する。 ・市や利用者の要望等を踏まえ利用状況に応じたダイヤ改正を検討する。	
				進捗	→												
	10	タクシーサービスの向上	交通事業者	計画	→										・(タクシー協会等)下関おもてなしタクシー認定研修を開催。(毎年30～40名の受講があり9割の合格者を認定。)	・事業者により、継続して実施する。	
				進捗	→												
	11	他分野と交通系ICカードの連携	地域団体 民間事業者 交通事業者	計画	→										・交通系ICカードの導入と併せて検討。	・交通系ICカードの導入と併せて検討する。	
				進捗	→												
	12	貨客混載のバス運行の導入検討	民間事業者 交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン)H29.2より高速バス(福岡線)で小荷物輸送サービスを実施。集荷の拠点として使用した施設の廃止により、H31.3に終了。	・路線バス事業者と新たな小荷物輸送の取組について検討。 ・生活バスにおいて、農家が道の駅に出荷する野菜等の輸送について検討する。	
				進捗	→												
	施策 - 自転車利用環境の改善(サイクルタウン下関構想の更新)	1	駐輪場利用促進(駅前駐輪場の管理、下関駅周辺の放置自転車の取締り)	下関市	計画	→										・自転車等の駐輪場の管理、放置禁止区域、放置抑制区域内に放置された自転車等を定期的に巡回し、放置車両の撤去を実施。	・継続して実施する。
					進捗	→											
		2	サイクルシップによる利便性向上	交通事業者 下関市	計画	→										・(関門汽船[下関])下関 門司 自転車切符年間利用実績 1,668件(昨年度比率、約91%) ・利用促進に向けてホームページ等で周知を実施。	・事業者にて継続して実施する。
					進捗	→											
3		自転車走行空間の整備	道路管理者	計画	→										・(道路河川建設課)自転車道等の整備箇所について検討を実施。	・道路管理者及び、市関係各所にて継続して検討を行う。	
				進捗	→												
4		サイクリングロードマップの作成・配布	下関市	計画	→										・下関駅の駐輪場の指定管理者であるブランドゥが「海峡サイクリングマップ」を作成し、観光案内所や下関駅周辺のホテル等で配布。	・指定管理者におけるマップの作成が継続予定であり、市はホームページへの掲載により利用の促進を図る。	
				進捗	→												
5		駐輪場の新設・改築	下関市	計画	→										・具体的な検討がなかった。	・検討を行う。	
				進捗													
施策 - 歩行者環境の改善		1	歩道の整備、拡幅	道路管理者	計画	→										・(道路河川建設課)市道椋野・伊倉線等、一部区間の歩道整備工事によりバス停のアクセスが向上。 ・(山口県、サンデン)県道の交差点改良により高機バス停へのアクセスが良くなり、サンデンにおいてH30.10月に上屋を設置し快適性を高めた。	・(道路河川建設課)市道本村・西山線交通安全施設等整備工事により歩道及びバス停車帯設置を実施する。 ・その他について、道路管理者及び市関係各所にて継続して実施する。
					進捗	→											
	2	ゾーン30の導入	交通管理者	計画	→										・(警察署)具体的な検討がなかった。	・検討を行う。	
				進捗													

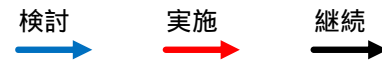
下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



【平成30年(2018年)】

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年		
みんなが安全・安心かつ快適に外出できる交通環境の形成	施策 - まちのにぎわい創出	1 レンタサイクルの利便性向上	民間事業者 山口県 下関市	計画	→										・市と民間事業者において7箇所を実施。	・事業者及び、市関係各所にて継続して実施する。
				進捗	→											
		2 駅周辺でのイベントの開催	地域団体 民間事業者 交通事業者 下関市	計画	→										<ul style="list-style-type: none"> <li>・(地域団体)エキマチ下関推進協議会にてランチタイムコンサートやマルシェ等を定期的開催。</li> <li>・(地域団体)安岡地区まちづくり協議会、よしみ商工振興会等の駅前イベントが開催。</li> <li>・(JR)10月に幡生駅において鉄道ふれあいフェスタ、12月に梅ヶ峠駅において本州最西端駅のPRイベントが開催。</li> <li>・(交通対策課、JR)山陰本線の利用促進として駅舎カード配布イベントを開催。</li> </ul>	・継続して実施する。
	進捗			→												
	3 商店街(商業施設)と公共交通のタイアップ	地域団体 民間事業者 交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン)H30.11～H31.2シーモール下関・下関大丸と共同企画(買物をされた方に100円乗車券を進呈)を実施。	商店街とのタイアップにより、公共交通利用者の一定需要が見込まれれば、継続して実施する。	
			進捗	→												
	施策 - 外出機会の促進	1 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示による公共交通の割引	交通事業者	計画	→										・(サンデン)対象者に割引を実施。	・継続して実施する。
				進捗	→											
		2 障害者福祉タクシー	下関市	計画	→										・(障害者支援課)対象者のタクシー料金一部助成を実施。	・継続して実施する。
進捗				→												
3 いきいきシルバー100		下関市	計画	→										・(長寿支援課)対象高齢者の公共交通利用料金100円制度を期間限定で実施。	・継続して実施する。	
	進捗		→													
4 移動制約者に対する助成制度	交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン・ブルーライン)夏休み等長期休みの児童に対し、50円バスを実施。また、高齢の免許返納者に対しフリーバスの割引を実施。	・継続して実施する。		
		進捗	→													
5 生活バス1コイン化	下関市	計画	→										<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.4.2生活バス1コイン化(100円)の運行を開始。</li> <li>・1コイン化後の反響や効果を確認するため、アンケート調査を実施。</li> </ul>	・利用状況を注視しながら利用促進等に取り組む。		
		進捗	→													
施策 - 公共交通利用者負担の軽減	1 ひとり親家庭のJRの通勤定期乗車券割引制度	交通事業者 下関市	計画	→										・(子ども家庭支援課)対象の世帯に対し、通勤定期にかんして3割引を実施。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
	2 離島住民の介護サービス利用者へ運賃助成	下関市	計画	→										・(介護保険課)六連島、蓋井島に居住する対象者の渡船運賃助成を実施。	・継続して実施する。	
			進捗	→												
	3 運賃体系の検討や割引サービス拡大検討	交通事業者 下関市	計画	→										・バス路線の再編と併せて検討を実施。	・バス事業者と協議し、乗換拠点整備に伴う乗継の割引などの運賃設定について再編実施計画に反映する。	
			進捗	→												

下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



【平成30年(2018年)】

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容	
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)						
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年			
みんなが安全・安心かつ快適に外出できる交通環境の形成	施策 - 公共交通と連携した観光振興の促進	1 山陰本線を活用した利用促進	交通事業者 下関市	計画	→										・(JR)12月に梅ヶ峠駅において本州最西端駅のPRイベント実施。 ・(交通対策課、JR)山陰本線の利用促進として駅舎カード配布イベントを開催。	・継続して実施する。	
		2 割引切符や企画切符の周知・拡充	交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン)休日おでかけ1dayバスや、関門周遊バスポート等、割引切符を販売。	・継続して実施する。	
		3 観光客に特化した移動支援	交通事業者 下関市	計画	→										(観光政策課)・10～11月の毎週土曜日に角島大橋や道の駅北浦街道豊北等を周遊する絶景バスツアーを実施した。好評であったため増便による対応を行った。 また、国の地方創生推進交付金を活用し門司港レトロ地区や下関地区の夜景景観を周遊する「関門海峡ぐるっと夜景バス」を10～3月まで80回程度運行。 ・観光列車「のはなし」の利用促進とおもてなしの実施。	・継続して運行を行い、観光客誘致を推進していく。	
自動車依存から公共交通利用への転換を図るための活動の実施	施策 - 公共交通利用の促進	1 パーク&ライド、キス&ライドの推進	下関市	計画	→										・(JR)下関駅パーク&ライド実施。 ・(豊北総合支所)滝部駅のパーク&ライドは、1日あたり5台程度の利用がある。 ・キス&ライドは、各駅における送迎スペースが利用されている。	・利用の促進を図り、継続して実施する。	
		2 サイクル&レールライド、サイクル&バスライドの推進	下関市	計画	→										・サイクル&レールライドは、鉄道駅周辺に整備された駐輪場を利用して行われており、本庁管内における駐輪場の稼働率は43%となっている。 ・サイクル&バスライドは、長府・王司・清末の国道等に駐輪場が設置されている。	・利用の促進を図り、継続して実施する。	
施策 - 環境負荷の低減	施策 - 環境負荷の低減	1 ノーマイカーデーの実施	下関市	計画	→										・(環境政策課)CO2負担の少ない公共交通機関の利用促進策を実施。 参加事業所数：19事業所 参加者数：2,898人	第2次下関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の基本施策1 省エネライフスタイルの実践 アクション2に掲げる施策として、下関市ノーマイカーデーを実施する。内容は以下のとおり。 ・6月と10月の第3金曜日の年2回に集中的に実施。 ・バス運賃が1乗車ワンコインの100円となり、6月は下関飲食組合主催のドリンクウォーク、10月は山口県環境政策課の実施している県内一斉ノーマイカーデーと連携して実施する。 ・普及啓発を目的としてECOバス利用によるサービス提供をご協力いただける飲食店、店舗等を「下関市ノーマイカーデー協賛店」として募集。	・継続して実施する。
		2 低公害車の導入促進	交通事業者	計画	→										・(サンデン)低公害車仕様のノンステップバス1台を導入。	・継続して実施する。	
施策 - 意識啓発イベントの実施	施策 - 意識啓発イベントの実施	1 交通安全教育等の実施	地域団体 交通管理者 下関市	計画	→										・(警察署)交通安全に関するイベント、キャンペーンを実施。	・継続して実施する。	
		2 公共交通に関するイベントやキャンペーンの実施	地域団体 交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン)H30.4.22山口県、バス協会が実施する「やまぐちバス博」を長府ゆめタウンにて開催。 ・(サンデン)H30.11菊川文化産業祭で、バス・生活バスを展示。 ・(サンデン)H31.3はいからっと横丁でのバス車両展示。	・イベントにおいて、公共交通の利用促進PRを継続する。	
		3 モビリティ・マネジメントの実施	地域住民 地域団体 民間事業者 交通事業者 下関市	計画	→										・(サンデン)小学生、高齢者、留学生等を対象にバスの乗り方教室を定期的に実施。	・自治会単位等、新規のバスの乗り方教室の開催ができるように募集しており、継続してモビリティマネジメントに取り組む。	

下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画) 施策進捗管理シート



[平成30年(2018年)]

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み	実施主体	進捗状況	実施期間										昨年(平成30年)度の実施内容	今年(令和元年)度の実施内容
					短期(～3年)			中期(3～6年)			長期(6～10年)					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年		
自動車依存から公共交通利用への転換を図るための活動の実施	施策 - 交通に関する情報提供	1 PR時刻表等の作成(JR山陰本線、関門シティ)	下関市	計画	→										・JR山陰本線「のはなし」ペーパークラフト付時刻表、及び関門シティ時刻表を作成。	・継続して実施する。
				進捗	→											
		2 まちなび下関の発信	下関市	計画	→										・主な駐車場の位置や空き状況について情報を発信。	・継続して実施する。
				進捗	→											
		3 総合案内情報の発信検討	民間事業者 交通事業者 下関市	計画	→			→							・(サンデン)城下町長府バス停、東駅バス停、小月駅バス停、山の田バス停にデジタルサイネージを設置。 ・(サンデン)西鉄バスと共同してパンフレットを作成。	・継続して情報発信を行うほか、バスマップの作成に取り組む。
	進捗			→												
	4 インターネットにおける公共交通事業のPR	下関市	計画	→			→							・市のホームページにおいて生活バスサイトの更新や鉄道の利用促進関係のサイトを充実させた。また、広報公聴課等のFacebookを活用して広く周知を行った。	・市などのホームページやSNSを活用したPRを充実させる。	
			進捗	→												
	5 トータルナビ事業者との連携強化	交通事業者 下関市	計画	→			→				→			・(サンデン)「駅すばあと」等に一部対応。	・さらにトータルナビとの連携を強化し充実させていく。	
			進捗	→												
施策 - 公共交通ニーズの把握	1 市民へのアンケートの実施	下関市	計画	→			→							・(企画課)市民実感調査において「公共交通の整備」についての評価を毎年実施。 ・H30.9生活バスのアンケート調査を実施した。 ・バス路線再編に関する基礎調査業務において、路線バスの利用者へヒアリング調査を実施する。	・市民実感調査の評価のほか、潜在需要が見込まれる自治会や、コミュニティ交通が導入可能な自治会等にアンケート調査を実施し、公共交通ニーズの把握に努める。	
			進捗	→												

## 目標指標 進捗管理シート

【目標指標の順番】〔評価する際の確認年次〕	目標年次
目標指標の項目	現状値 目標値

### 目指す姿の実現

【目標指標1】〔10年後〕 2028年まで  
代表交通手段における公共交通分担率 9.8% 10.7% (増加)

10年後に確認。

【目標指標2】〔10年後〕 2028年まで  
代表交通手段における自動車分担率 66.7% 65.8% (減少)

10年後に確認。

【目標指標3】〔10年後〕 2028年まで  
自動車を運転できない人の外出率 77.7% 81.9% (増加)

10年後に確認。

### 「使える」公共交通の実現

【目標指標4】〔毎年〕 2028年まで  
人口に対するバス利用率 13.6% 15.1% (増加)

2018年度(平成30年度)実績: 13.3%

【目標指標5】〔毎年〕 2028年まで  
人口に対する鉄道利用率 9.7% 10.8% (増加)

2018年度(平成30年度)実績: 9.8%

【目標指標6】〔毎年〕 2028年まで  
公共交通カバー率 76.8% 84.8% (増加)

2018年度(平成30年度)実績: 76.8%



【目標指標7】〔毎年〕 2022年まで  
路線バス観光きっぷの販売枚数 38,000枚/年 58,000枚/年（増加）

2018年度（平成30年度）実績：39,500枚/年

【目標指標8】〔毎年〕 2022年まで  
観光客数 653万人/年 1,000万人/年（増加）

2018年（平成30年）実績：700万人/年

【目標指標9】〔毎年〕 2020年まで  
人身事故発生件数 1,395件/年 1,200件/年 以下（減少）

2018年（平成30年）実績：1,025件/年

### みんなで公共交通の維持

【目標指標10】〔毎年〕 2028年まで  
バスの定期券販売枚数 48,000枚/年 48,000枚/年（現状維持）

2018年度（平成30年度）実績：47,400枚/年

【目標指標11】〔毎年〕 2028年まで  
市民アンケートによる満足度 3.212 3.569（増加）

2018年度（平成30年度）調査：3.145